

輸送による温度対策・結露対策などのエキスパート！

保冷箱・保冷試験、何でもご相談ください。

**保冷・保温・遮熱お助け隊**

<http://onshitsudo.com/>

ティ・エス・ケイ株式会社

TEL:076-478-5550

FAX:076-479-9051

保冷保温遮熱お助け隊

で

検索



## 輻射熱防止（遮熱）シートハーフ（コンテナ用）

海外輸送をする際のコンテナ内の高温現象を遮熱することで、「凍結防止」や「高温を抑制」します。



### 設置時間

通常の20ftコンテナや40ftコンテナに輻射熱防止（遮熱）シートを使用し運用することができます。通常の輻射熱防止シートと比べると取り付け作業が圧倒的に楽になりました。



取り付け作業時間が約10分！あっという間に取付けをすることができます。

猛暑により最近、7～9月などの炎天下の日にコンテナの温度は、45度～70度と高い温度環境となっています。その要因のほとんどが輻射熱（放射熱）であり、その際に、製品の品質劣化を起こす可能性がより高くなってきています。

### 輻射熱防止（遮熱）シートの実用例

- 危険物で海上輸送においてリーファー不可な製品
- 小麦粉・・・高温による品質劣化
- 果物（高温、凍結）・・・高温による品質劣化
- ケミカル原料（高温、凍結）・・・高温、または凍結による品質劣化
- 塗料（高温、凍結）・・・高温、または凍結による品質劣化
- 電池（高温、低温）・・・高温、または凍結による品質劣化
- バッテリー（高温、低温）・・・高温、または凍結による品質劣化
- フィルム（高温、低温）・・・高温、または凍結による品質劣化
- トナー（高温）・・・高温、または凍結による品質劣化
- 接着剤（高温、凍結）・・・高温、または凍結による品質劣化

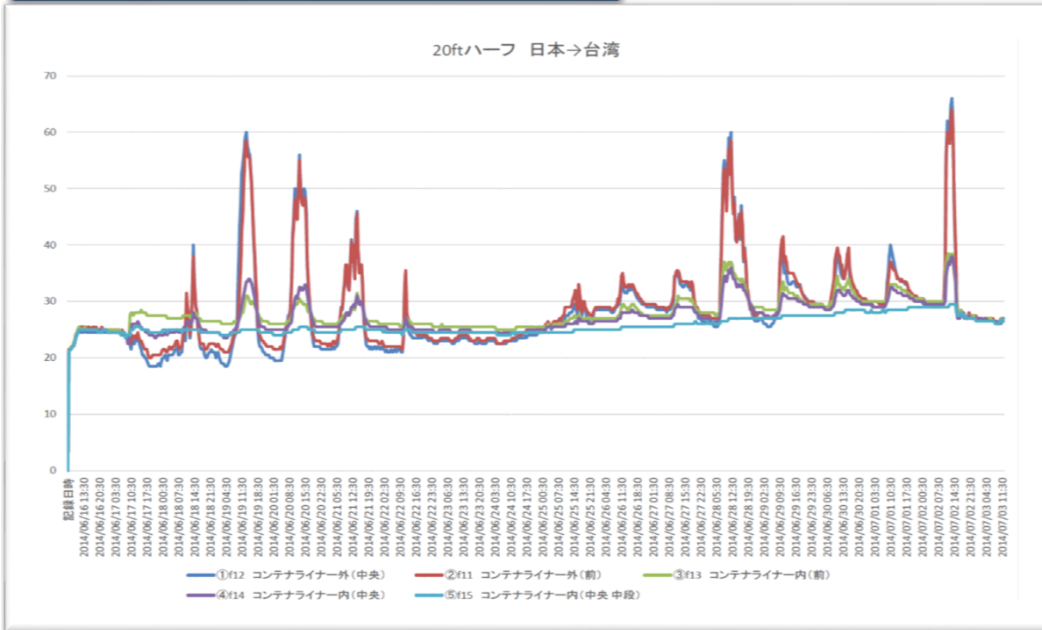
熱の伝わりには



熱の伝わりの大部分（約75%）を占める輻射熱。その輻射熱を約97%カットします。



### 輻射熱防止シートハーフの実測値【40ftコンテナ】



海上コンテナ内で最高温度65℃の温度が出ているのに対し、輻射熱防止（遮熱）シートをかぶせた製品は38℃となり約27℃の温度を抑制。また温度変化が少ないため、結露対策などにも有効となります。  
船の上のデッキに積まれた場合やコンテナヤードで温度が高くなる傾向があり、その温度域は60℃～70℃となるケースが増えています。輻射熱を抑えること（遮熱すること）で常温輸送が可能となります。

### 輻射熱防止シートハーフのその他用途【凍結対策】

凍結防止対策にも使用することができます。  
寒冷地の輸送の際に、コンテナ内が-20℃近くまでになってしまうケースがあります。  
そのマイナス環境を抑えるためにも輻射熱防止（遮熱）シートは有効です。コンテナ温度-20℃に対し輻射熱防止（遮熱）シート内が-2℃となり、約18℃の温度抑制が実現し、凍結防止の解決につながりました。

### 規格サイズ

海上輸送の20ftコンテナ、40ftコンテナ向けの遮熱シートとなります。

製品名	入数	重さ【kg】	折りたたみ時
輻射熱防止(遮熱)シートハーフ 20ftコンテナ用	1	12.5	100×50×10
輻射熱防止(遮熱)シート 40ftコンテナ用	1	22.5	100×50×17

